

リコーグループは世の中にイノベーションをもたらす製品やサービスを提供し、お客様とともに成長し続けることを目指しています。日本、米州、欧州、アジア・パシフィックの4極体制により、世界約200の国と地域で事業を展開し、売上高は1兆6,820億円、従業員数は約8万名にのびります。

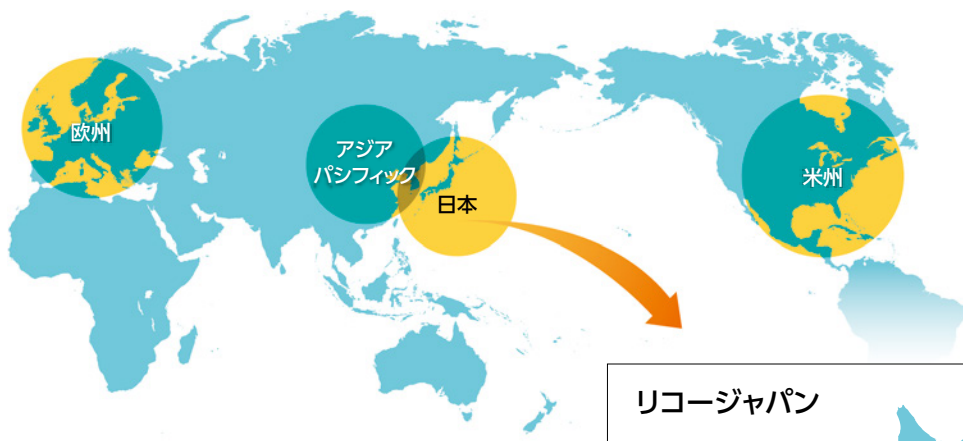
## リコージャパン株式会社の概要

リコージャパンは、リコー製品を中心とした商品・サービスの提供をはじめ、業務改善を含めたコンサルティングから、システム構築、アフターサービスまで、さまざまなソリューションをワンストップで提供しています。

全国に広がる販売・サービス体制を活かし、地域密着で、さまざまな業種のお客様の企業価値向上を支援しています。

お客様との接点を担う私たちは、お客様のご意見・ご要望をリコーグループへフィードバックすることで、よりよい製品・サービスの開発にも貢献しています。

社名	リコージャパン株式会社
本社所在地	東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル
創立	1959年5月2日
資本金	25億円
代表者	代表取締役 社長執行役員 CEO 坂主 智弘
売上高	684,178百万円(2021年3月期)
従業員数	18,887名(2021年4月1日現在)
事業所	札幌、仙台、さいたま、東京、名古屋、大阪、広島、福岡など全国351拠点(2021年4月1日現在)
認証取得	ISO 9001 品質マネジメントシステム ISO 14001 環境マネジメントシステム ISO/IEC 20000 ITサービスマネジメントシステム ISO/IEC 27001 情報セキュリティマネジメントシステム



### リコーグループ

連結売上高  
**1兆6,820**億円(2021年3月期)

世界の事業展開  
**約200**の国と地域(2021年3月31日現在)

A3レーザーMFP・コピー機 グループ従業員数  
**世界シェア1位**※ **約8**万名  
(2021年3月31日現在)

※2020年出荷台数(単機能コピー機を含む)

出典: IDC's Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2021Q1, A3 Laser, MFP/SF DC, Speed Range A4 less than 91ppm, by Company

### リコージャパン



A3レーザーMFP・コピー機  
**国内シェア2位**※

※2020年出荷台数(単機能コピー機を含む)

出典: IDC's Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2021Q1, A3 Laser, MFP/SF DC, Speed Range A4 less than 91ppm, by Company

営業  
**約8,000**名

カスタマーエンジニア  
**約4,600**名

システムエンジニア  
**約1,300**名

コンタクトセンター  
**約1,000**名

サービスステーション数  
**431**

営業所数  
**386**  
(2021年4月1日現在)

## 編集方針

リコージャパン株式会社では、すべてのステークホルダーの皆様へ、私たちのサステナビリティの活動をお伝えするために、『サステナビリティレポート』を発行しています。本レポートは、リコージャパンがこれからの新しい生活様式を見据えた「デジタルサービスの会社」として社会に貢献していくための取り組みをご紹介します。2020年度はマテリアリティ（重要課題）に紐づくESG（環境・社会・ガバナンス）目標を設定したことから、ESGに合わせた編集としています。

### Webサイト

- リコージャパンのサステナビリティ  
<https://www.ricoh.co.jp/sales/about/sustainability/>
- リコージャパン「企業情報」  
<https://www.ricoh.co.jp/sales/about/>

### 報告対象範囲

リコージャパン株式会社

### 報告対象期間

2020年4月～2021年3月  
(一部、2021年4月以降の活動も掲載)

### 発行

2021年7月

### お問い合わせ先

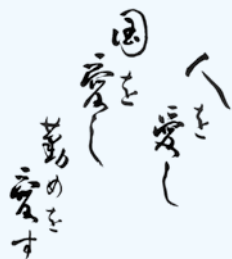
リコージャパン株式会社  
経営企画本部  
コーポレートコミュニケーション部  
〒105-8503 東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル  
E-mail: zjc\_rjsdgs@jp.ricoh.com

### ◆ リコーグループの理念

#### リコーウェイ

##### 創業の精神

「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」  
— 三愛精神 —



「三愛精神」は、1946年にリコーの創業者、市村清が提唱したもので、リコーでは創業の精神と位置づけています。これは事業・仕事を通じて、自分、家族、顧客、関係者、社会のすべてを豊かにすることを目指した考えで、リコーグループの全社員が、経営や仕事を行ううえで原点となるものです。

##### 私たちの使命

世の中の役に立つ新しい価値を生み出し、生活の質の向上と持続可能な社会づくりに責任を果たす

##### 私たちの目指す姿

信頼と魅力のグローバルカンパニー

##### 私たちの価値観

- CUSTOMER-CENTRIC**  
お客様の立場で考え、行動する
- PASSION**  
何事も前向きに、情熱を持って取り組む
- GEMBA**  
現場・現物・現実から学び改善する
- INNOVATION**  
制約を設けず、柔軟に発想し、価値を生み出す
- TEAMWORK**  
お互いを認め合い、すべての人と共創する
- WINNING SPIRIT**  
失敗をおそれず、まずチャレンジし、成功を勝ち取る
- ETHICS AND INTEGRITY**  
誠実に、正直に、責任を持って行動する

## Contents

トップメッセージ	03
新型コロナウイルス感染症への対応	07
リコーグループの第20次中期経営計画	09
デジタルサービスの会社としての リコージャパンの提供価値	10
リコーグループが取り組むマテリアリティとSDGs	11
<b>特集1</b> 企業の未来を進化させるワークプレイス改革	13
<b>特集2</b> 地域への想いを地方創生の力に ステークホルダーとの対話	15

### ESGの取り組み

#### 環境

環境マネジメント	18
脱炭素社会の実現	19
循環型社会の実現	21
生物多様性保全への取り組み	23

#### 社会

“はたらく”の変革	24
生活の質の向上	26
地方創生の取り組み	27
共創イノベーション	28
社員がいきいきと誇りを持って働く 会社を目指して	29
ダイバーシティ&インクルージョン	29
健康経営	30
人材開発	32
社会貢献活動	33

#### ガバナンス

コーポレート・ガバナンス体制	35
情報セキュリティ	37
お客様満足(CS)の向上	38

※ 当レポートは感染症の蔓延防止対策を十分に講じたうえで撮影した写真を掲載しています。